

# Weekly Accounting Review

2009年11月18日 (No.032)

株式会社 ES リサーチ

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

## 【今週号のトピック】

- 会計①／「引当金に関する論点の整理」に対する意見について
- 会計②／「収益認識に関する論点の整理」に対する意見について
- 監査／「平成21年度上半期における品質管理レビューの概要」の公表について

## 【先週の特別損益等 I R】

- 株式会社ドワンゴ：減損損失の計上
- エンシュウ株式会社：異常操業度損失の計上
- オーエスジー株式会社：ソフトウェア開発損失の計上
- UTホールディングス株式会社：のれんの一括償却の計上

## 【先週の会計監査人交代等 I R】

- 株式会社文教堂グループホールディングス
- サムシングホールディングス株式会社
- ユニパルス株式会社

## 1. 「引当金に関する論点の整理」に対する意見について (11月12日)

日本公認会計士協会は2009年9月8日に企業会計基準委員会から公表された「引当金に関する論点の整理」に対し、意見を取りまとめ、企業会計基準委員会に提出しております。

[http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized\\_field/main/post\\_1240.html](http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/main/post_1240.html)

日本公認会計士協会は、基本的には当該論点整理の内容について同意をしているが、3つの事項を要望としています。

- ・「利息返還損失引当金」・「負債を中止した項目に係る引当金」についても検討対象とすべきである。
- ・環境修復引当金の検討には、資産除去債務との具体的な違いについて明示することが必要である。
- ・日本の基準においては引当金の測定方法が明示されておらず、過去の情報に基づく金額を前提に見積もりを行っていることが多かった。しかしながら、基準見直し後の引当金は将来キャッシュフローを勘案して算出する必要がある。そのため、引当金の測定に関して基準上明記する必要がある。

## ショート・コメント

「引当金に関する論点の整理」については9月16日発行 Weekly Accounting Review (NO.24) にて扱っており、「引当金に関する論点の整理」の内容についてはそちらをご参照下さい。

## 2. 「収益認識に関する論点の整理」に関する意見について (11月10日)

日本公認会計士協会は2009年9月8日に企業会計基準委員会から公表された「収益認識に関する論点の整理」に対し、意見を取りまとめ、企業会計基準委員会に提出しております。

[http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized\\_field/post\\_1241.html](http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/post_1241.html)

当該意見によると、

- ① 資産及び負債の変動に基づく収益認識モデルについて、論点整理に示されている事例が少なすぎ、現行モデルにおいて実務上の判断が難しい取引についてどう処理すべきか曖昧である
- ② 現行のIAS第18項が収益認識において見積り値を利用することを許容しており、見積り値の使用を認めるにしてもその使用を限定した上、収益の額が信頼性をもって測定できない場合は、収益の認識を遅らせることが必要である
- ③ 論点整理では、契約に焦点を当てて収益を認識することとしている。商慣行として契約書に明記していない事項が存在する場合もあるため、そのような場合にはどのような要件を満たせば契約書に記載されていると同等の扱いができるのか、具体的な要件を示すことが望まれる

### ショート・コメント

「収益認識に関する論点の整理」については9月16日発行Weekly Accounting Review (NO.24)にて扱っており、「収益認識に関する論点の整理」の内容についてはそちらをご参照下さい。

## 3. 「平成21年度上半期における品質管理レビューの概要」の公表について (11月12日)

日本公認会計士協会は「平成21年度上半期における品質管理レビューの概要」を公表しました。

[http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized\\_field/21\\_12.html](http://www.hp.jicpa.or.jp/specialized_field/21_12.html)

当該資料によると、平成21年度の品質管理レビューの重点的実施項目としては、

- ① 上場会社監査事務所登録制度（上場会社を監査する事務所が登録申請を行い、品質管理レビューの結果によって登録の可否を決定する制度）の適切な運用
- ② 品質管理のシステムの監視の実施状況の確認
- ③ 監査人の交代手続、監査契約に関する手続の適切な実施
- ④ リスク・アプローチに基づく監査計画の適切な策定及び実施状況の確認
- ⑤ 監査意見形成上の重要事項（繰延税金資産の回収可能性、減損会計等）の検討状況及び継続企業の前提に対する適時な対応の確認
- ⑥ 内部統制監査における適時な計画の策定及び審査の実施状況の確認

を挙げています。

また、レビューの実施状況としては、当年度の品質管理レビュー対象事務所数は85事業所であり、上半期末までに30事業所のレビューが完了しております。また、品質管理レビューのフォローアップ（前年度品質管理レビューを実施した事務所のうち、フォローが必要と考えられる事務所の改善状況を確認する手続）対象事業所数は67であり、そのうち5事業所について手続が完了しています。

#### ショート・コメント

品質管理レビュー制度は、公認会計士法に規定する大会社等の監査を行っている監査事務所の品質管理の状況をレビューする制度であり、監査の水準の維持・向上を図るものであります。

#### 4. 先週の特別損益等 I R (11月9日～11月13日)

##### **(1) 株式会社ドワンゴ (証券コード3715、東証一部) : 減損損失の計上【11月10日】**

株式会社ドワンゴは「ニコニコ動画」の事業投資等に対する今後の回収可能性について慎重に検討を行った結果、1,150百万円の減損損失を特別損失に計上することとしました。

株式会社ドワンゴの11月12日公表の2009年9月期の決算短信のセグメント情報注記によると、「ニコニコ動画」の運営事業が属するポータル事業の営業利益は前々期：671百万円の赤字（減損損失はなし）、前期：1,515百万円の赤字（減損損失は105百万円）、当期：1,830百万円の赤字（減損損失は1,059百万円）と三期連続赤字になっており、今回の大幅な減損は避けられなかったものと考えられます。

なお、株価は発表日終値189,500円から発表日翌日終値176,400円と13,100円下落しております。

##### **(2) エンシュウ株式会社 (証券コード6218、東証一部) : 異常操業度損失【11月11日】**

エンシュウ株式会社は輸送機器他関連事業部門において、主力製品の生産が大幅に減少したことに伴い、設備稼働率が低下したため、発生した異常操業度経費449百万円を異常操業度損失として特別損失に計上することとしました。

「異常操業度損失」はあまり馴染みのない科目ではありますが、直近1年間で提出された有価証券報告書によると、株式会社スーパーツール（証券コード5990）、アタカ大機株式会社（証券コード1978）、株式会社横河ブリッジホールディングス株式会社（証券コード5911）、株式会社栗本鐵工所（証券コード5602）などでも計上が見られるものです。

なお、株価は発表日終値76円から発表日翌日終値75円と1円下落しております。

##### **(3) オーエスジー株式会社 (証券コード6136、東証・名証一部) : ソフトウェア開発損失の計上【11月13日】**

オーエスジー株式会社は統合型基幹情報システムの導入準備を行っており、当該準備に係る支出をソフトウェア仮勘定に計上していましたが、導入作業の遅れ及び計画の変更により、既計上額の内、導入支援業務委託、データ移行コスト、システム構築等の特定部分について価値がないと判断し、ソフトウェア開発損失として948百万円を特別損失に計上することとしました。

なお、株価は発表日終値841円から発表日翌日終値864円と23円上昇しております。

##### **(4) UTホールディングス株式会社 (証券コード2146、) : のれんの一括償却の計上【11月13日】**

UTホールディングス株式会社は100%子会社である株式会社エイベックスの全株式を株式会社八徳に譲渡したことに伴い、のれん4,441百万円を一括償却し、特別損失に計上することとしました。

当該譲渡代金の一部について、UTホールディングス株式会社と株式会社八徳は準消費貸借契約を締結

しております。当該貸付金額から、株式会社八徳は企業会計基準適用指針第 22 号「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」における緊密な者に該当し、UTホールディングス株式会社は株式会社エイペックスを持分 0% で連結することとなります。

なお、株価は発表日終値 27,220 円から発表日翌日終値 24,220 円と 3,000 円下落しております。

#### **5. 先週の会計監査人の交代等 I R (11月9日～11月13日)**

##### **(1) 株式会社文教堂グループホールディングス (証券コード 9978、JASDAQ) 【11月9日】**

株式会社文教堂グループホールディングスは会計監査人である有限責任監査法人トーマツが任期満了となることに伴い、2009年11月26日開催予定の第59回定時株主総会に会計監査人を海南監査法人とする議案を付議することを11月9日開催の取締役会にて決議しております。

##### **(2) サムシングホールディングス株式会社 (証券コード 1408、ヘラクレス) 【11月10日】**

サムシングホールディングス株式会社は会計監査人である有限責任監査法人トーマツが任期満了となることに伴い、2009年11月25日開催予定の第10回定時株主総会に会計監査人を監査法人ナカチとする議案を付議することを11月6日開催の取締役会にて決議しております。

##### **(3) ユニパルス株式会社 (証券コード 6842、東証二部) 【11月13日】**

ユニパルス株式会社は会計監査人である新日本有限責任監査法人が任期満了となることに伴い、2009年12月18日開催予定の第41回定時株主総会に会計監査人を優成監査法人とする議案を付議することを11月13日開催の取締役会にて決議しております。

#### **【本レポートに関するお問い合わせ先】**

株式会社 ES リサーチ 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / [t-hashimoto@esnet.co.jp](mailto:t-hashimoto@esnet.co.jp)